



あきたふるさと学講座「小坂キャンパス」スタート！

8月31日（土）に、小坂キャンパス「小坂町なう」が旧十和田小中学校を会場にスタートしました（主会場は小坂町交流センター・セパームです）。

午前は弘前大学教育学部の齊藤利男教授を講師に「なんそほう霊山十和田と十和田参詣道～とわたのうみ真澄も歩いた、今もなお残る小坂口～」というテーマで講座が行われました。

その中で齊藤教授は『十和田湖伝説』から八郎太郎と南祖坊の戦い、菅江真澄『十曲湖』を紹介しながら十和田湖の歴史についてわかりやすく説明されました。

齊藤教授が用意した資料は実に豊富で、見ているだけでも当時の歴史に思いを馳せることができました。十和田湖周辺の地図をもとに、近世の十和田参詣道について詳しくお話しになりました。

午後は、十和田自然教室のひろみつ工藤公光氏を講師に、「十和田湖畔そぞろ歩き」と題して、バス移動学習が行われました。

午前の講座を検証する形で、十和田参詣道や十和田神社を巡りました。あいにくの雨となりましたが、青森県側の休屋から十和田神社、そして高村光太郎が作成した乙女の像などを見学しました。

ある受講者は「子どものころは十和田神社の占い場につながる鉄バシゴを渡って奥まで遊びに行ったものだ」と昔を思い出しながらしみじみと話していました。

ほかに受講者からは「十和田湖が修行の場であったことを初めて知り、大変勉強になった」といった感想が寄せられました。



旧十和田小中学校で講義する齊藤教授



十和田神社の参道を案内する工藤氏（中央左）



十和田湖の霊場・十和田神社

美の国アクティブカレッジ連携講座の様子です！

秋田県立近代美術館との連携による「明快！Artゼミ」と秋田県森林技術センターとの連携による「不思議！キノコゼミ」が終了しました。

「明快！Artゼミ」のテーマは秋田ゆかりの日本画家、横山大観・小泉淳作・平福百穂の3人について、近代美術館の河野元昭館長が専門的な内容を、弁舌さわやかにわかりやすく説明されました。横山大観の描いた富士山、小泉淳作の描いた鳥海山などに圧倒されました。

「不思議！キノコゼミ」は河辺にある秋田県森林技術センターを会場に行われ、キノコを中心に春は山菜、秋は木の実について学習しました。

食用のニリンソウと毒草のトリカブトの見分け方を、実物を見ながら学習したり、原木にブナハリタケの菌が植えられた駒木を打ちつけたり、山菜摘みや栗拾いなど、森林技術センターの敷地にある植物を活用した体験は大好評でした。

受講者からは「今まで知らなかった画家と作品について知ることができて嬉しく思いました。近代美術館でゆっくり鑑賞したいと思います（Artゼミ）」「キノコ講座は新しい知識を次々に得られて面白い（キノコゼミ）」といった感想が寄せられました。

今後は公文書館と埋蔵文化財センターとの連携講座が開催されます。詳しくは生涯学習センターまでお問い合わせください。



秋田ゆかりの日本画家について講義する河野館長



森林技術センターの実験林で栗拾いを楽しむ受講者

あきたふるさと学講座「学ぶための“まなび方”」のお知らせです！

学びの基本である読み書きを、実技も交えながら体験する「学ぶための“まなび方”」が10月26日（土）にスタートします。各講座とも3回シリーズで行われ、受講料は3コマで400円です。

なお、E5書については書道道具をご準備ください。その他、詳しい内容等については、生涯学習センターまでにお問い合わせください。

「学ぶための“まなび方”」

- | | | |
|----|--|---------------------------|
| E1 | 10月26日（土）10:00～「新聞の楽しい読み方」 | 講師：元秋田魁新報社編集局長 宍戸 豊和 氏 |
| E3 | 10月26日（土）13:00～「古典文学を読んでみよう」 | 講師：秋田大学名誉教授 佐々木 久春 氏 |
| E2 | 11月2日（土）10:00～「初めての俳句」 | 講師：元秋田県生涯学習センター所長 武藤 素魚 氏 |
| E4 | 11月9日（土）10:00～「文章入門～原稿用紙の使い方からエッセイまで～」 | 講師：作家 柴山 芳隆 氏 |
| E5 | 11月9日（土）13:00～「書を学び始めるには」 | 講師：秋田大学特別教授 長沼 雅彦 氏 |

※日付は第1回のもので。第2回・第3回の日程はお問い合わせください。

【問い合わせ先】秋田県生涯学習センター TEL 018-865-1171 FAX 018-824-1799